

あなたの施設は消防訓練をしていますか？

名古屋市消防局

社会福祉施設の火災

社会福祉施設の火災は人手が少なくなる**夜間**に起きています！

発生日	用途	覚知時間	死傷者
平成18年1月8日	認知症高齢者グループホーム	2時32分	死者 7名 負傷者 3名
平成20年6月2日	知的障害者施設	2時33分	死者 3名 負傷者 1名
平成20年11月13日	老人福祉施設	1時24分	負傷者 33名
平成21年3月19日	有料老人ホーム	22時55分	死者 10名 負傷者 1名
平成22年3月13日	認知症高齢者グループホーム	2時25分	死者 7名 負傷者 2名
平成25年2月8日	認知症高齢者グループホーム	19時43分	死者 5名 負傷者 7名

これらの火災時の職員の対応は？

パニックになり初期消火や迅速な119番通報が行えませんでした。

パニックを防ぐには？

日頃からの

訓練

が必要です！



基礎訓練を実施しましょう

① 通報訓練

- ・119番通報の際に聞かれる内容について整理しておきましょう。
- ・事業所に「火災通報装置」が設置されている場合は、使用方法を確認しておきましょう。

② 初期消火訓練

- ・消火器が設置されている場所を確認しましょう。
- ・消火器の操作方法確認しておきましょう。
- ・屋内消火栓設備や補助散水栓が設置されている場合は、操作方法を確認しておきましょう。



③ 避難・誘導訓練

- ・事業所のどの部分からでも迷わず避難できるように避難経路を確認しておきましょう。
- ・自力避難が困難な方など、避難に介助が必要な方をどのように避難させるか確認しておきましょう。

社会福祉施設ならではの問題

人手が少なくなる**夜間**に火災が発生すると、**少ない人数**で、自力避難が困難な方を避難させなくてはならない。



社会福祉施設の状況を考慮した訓練を実施しましょう

訓練は人手が少なくなる**夜間を想定**して行いましょう

少ない人手で、初期消火や通報、施設の入居者の方を適切に避難させるには、事前にしっかりと準備をすることが必要です。従業員ひとりひとりが定められた役割にとらわれず、通報、初期消火、避難誘導の訓練を一通り行い、非常時の行動を自らが考え、臨機応変に行えるようにしましょう。

建物の特徴を活かした避難方法を考えましょう

施設の入居者の方の状態、施設の状況、建物の構造、配置等を考え、どのような避難方法が施設に最適か検討し、施設の避難計画を定めることが重要です。階段で外に避難しなくても、バルコニーなどで消防隊が到着するまでの間、一時的に避難することも有効です。

理想的な訓練の流れ

計画に基づいた訓練の実施



問題点、改善点の洗い出し



ソフト面、ハード面の工夫、強化、改善を検討



再度、問題点等を踏まえた訓練の実施（問題点の解消）



訓練の反復 すべての従業員等が訓練を経験できるよう訓練の実施を継続していく



自分たちの施設に最適な対応方法を見つけていく

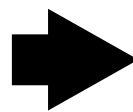


訓練を行った後、改善点などを洗い出し、対策を検討し、次回の訓練につなげていく、という流れを繰り返し行うことで火災への対応力は向上していきます。また、訓練を繰り返して、改善点を洗い出し、ソフト面、ハード面の改善をしていくことで、火災を起こさない、火災が起きても被害が最小限になるような安心・安全な施設を目指しましょう。

消防訓練の事例紹介

毎年実施している消防訓練。もしかして、同じ訓練ばかりでマンネリ化していませんか？

市内の事業所で実施された消防訓練の事例を、名古屋市公式ウェブサイトに掲載しています。是非、ご覧になって参考として下さい。



消防訓練実施一覧（令和4年度）

No.	行政区	実施日	事業所名称	訓練概要
1	南	4月19日	ニチハマテックス株式会社 大江工場	新入社員への「防火・防災講話及び消防設備の取扱い訓練」
2	南	6月10日	学校法人鶴田学園 鶴田幼稚園	幼稚園での「親子が一緒に楽しめる」防火教育
3	南	6月15日	学校法人竹田学園 山崎幼稚園	「おもちゃ花火の正しい遊び方」教室の開催
4	瑞穂	6月15日	ブラザー記念病院	夜間を想定した火災図上訓練を実施
5	瑞穂	6月8日	日本ガイシ株式会社	火災発生時の初動対応能力を目的としたブラインド訓練の実施
6	瑞穂	6月30日	名古屋市立中根小学校	教職員を対象とした屋内消火栓取扱い訓練を実施
7	瑞穂	7月14日	日本アルコール販売株式会社	事務所内で水害にまつわるトラブルが発生したことを想定した災害図上訓練を実施
8	中川	11月14日	中川区自立支援連絡協議会 防災部会	中川区障害者期間相談支援センターの協力のもと、区内19施設管理者の方を対象に火災図上訓練の講習会を実施
9	中川	11月11日	特別養護老人ホームあんのん	スモークマシンで煙を再現し、より実災害に近い環境のブラインド型訓練を実施
10	瑞穂	3月2日	株式会社パロマ 本社ビル	ブラインド型消防訓練、消火器・屋内消火栓設備を使用した初期消火訓練、救出訓練を実施
11	中川	3月8日	特別養護老人ホーム 第2 共愛の里	スモークマシンで煙を再現し、より実災害に近い環境のブラインド型訓練を実施

訓練記録表

タイトル	教職員を対象とした屋内消火栓取扱い訓練を行いました
日時	令和4年6月30日（木）15時00分～
場所 （事業所名等）	瑞穂区 名古屋市立中根小学校

概要

火災発生時の初動対応能力の向上を目的に、小学校内で火災が発生したとの想定で名古屋市立中根小学校にて屋内消火栓放水訓練を行いました。約30名の教職員の方に参加していただきましたが、屋内消火栓での放水経験がある方はほとんどいないため、訓練前に屋内消火栓の場所や取扱い方法の説明を行いました。

ホース延長の難しさ、筒先との連携、放水量の多さ、筒先の反動力の強さなどを訓練参加者は体験することができました。



参加者からは、「一人で屋内消火栓を使うことは可能ですか。」「ホースをどうやってはめたり、外したりするんですか。」など具体的な質問もあり、火災発生時の行動を考える良い機会となりました。

火災の初動対応時に消防用設備を事業所の皆さんが使用できれば、被害を最小限に抑えることができます。

瑞穂消防署は今後も消防用設備を使用した実動訓練を積極的に推進・支援していきますので、ご興味のある方はぜひ下記連絡先までご相談ください。

訓練についてのお問い合わせ先

瑞穂消防署予防課 TEL：052-852-0119

Email：08yobo@fd.citynagoya.lg.jp

訓練のアドバイス

過去の火災事例においても、適切な初期消火、火災通報や避難誘導が全く実施できなかったことで多数の死傷者が発生した事例が多くあります。

「どのように訓練をやればいいのかわからない。」そんな事業所の皆様のために、事業所の個別の火災危険等を消防職員が見極め、火災時に本当に必要な訓練アドバイスをを行っています。

命を守る効果的な訓練を実施したいという事業所の方は、管轄の消防署予防課までお気軽にご相談ください。



社会福祉施設の職員の方へ

いざという時に、利用者と職員の皆様の
大切な命を守れるように、

職員が少なくなる

夜間を想定した 消防訓練

を行いましょう！



夜間に発生した火災で、多くの高齢者が亡くなっています。
原因の多くは・・・

- 119番通報
- 初期消火
- 避難誘導

が、適切に
行われていなかった！



なぜ、できなかったのか？

一人で恐かった

一度も訓練を
行ったことがなかった



設備の使い方が
わからなかった

パニックになった

悩んでいるのは、あなただけではありません。
一緒に火災の時に慌てない訓練の方法を考えましょう！

裏へ

訓練のポイントは裏面に

名古屋市消防局

最初の消防隊が到着するまでの 約5分間 にできることは限られています。

**いざという時に迅速的確に行動が行えるよう
日頃から訓練を行ってください。**

訓練に取り入れる内容

利用者に知らせる



119番通報

ボタンを押すと
119番に
つながります!!



火災通報装置のボタンを押す
(装置がない場合は電話で119番通報する)

出火場所の確認



初期消火



初期消火
失敗

避難誘導



1人でも多くの利用者を
安全な場所に避難
させましょう

ドアを必ず閉める



職員全員が反復して消防訓練を実施し、
自分たちの施設に合った火災時の対応を身に付けていきましょう!

◆ご不明な点は名古屋市内の各消防署予防課までお問い合わせください。

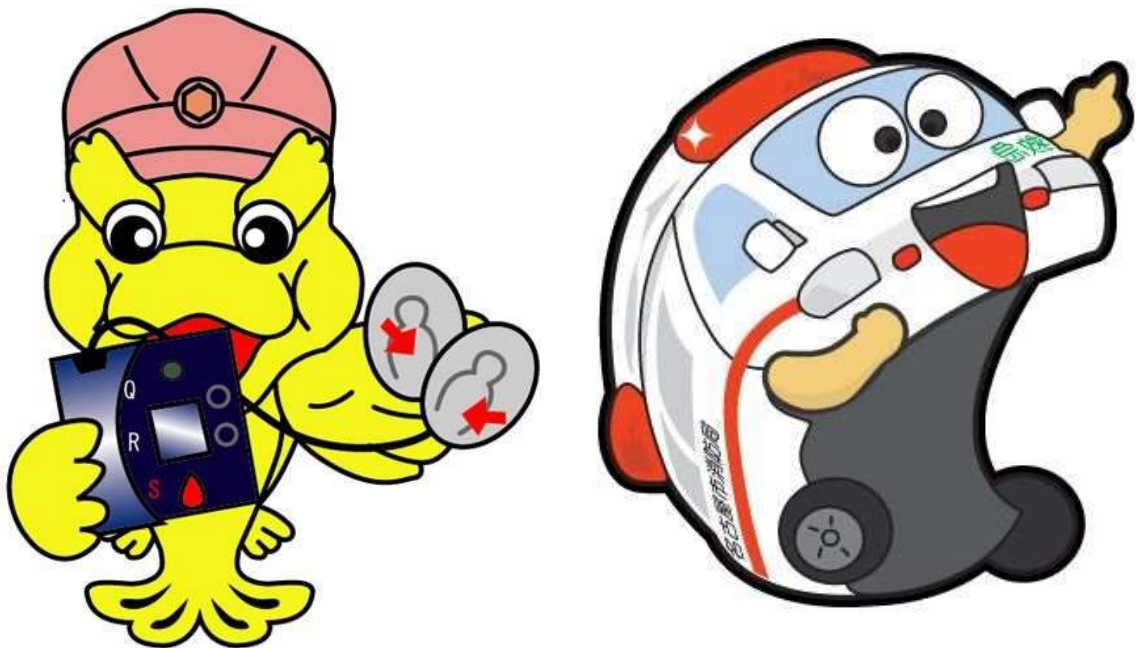
千種消防署	764-0119	中村消防署	481-0119	熱田消防署	671-0119	守山消防署	791-0119
東消防署	935-0119	中消防署	231-0119	中川消防署	363-0119	緑消防署	896-0119
北消防署	981-0119	昭和消防署	841-0119	港消防署	661-0119	名東消防署	703-0119
西消防署	521-0119	瑞穂消防署	852-0119	南消防署	825-0119	天白消防署	801-0119



救急要請の手引き

介護老人保健施設・老人福祉施設等における

救急ガイドブック



名古屋市消防局

はじめに

名古屋市の救急出動件数は、高齢者の人口増加を背景に今後増加することが予測されています。そのため救急車の到着の遅れや、傷病者の方を医療機関に収容するまでの時間の遅れが懸念されています。このことから、名古屋市では迅速に救急車を出動させる体制の確保や、救急事故を未然に防ぐ救急予防の啓発など、増加する救急需要に対する総合的な救急需要対策を推進しているところです。

この手引きは、介護老人保健施設・老人福祉施設等の職員の方々へ、施設内でできる病気やけがの予防方法の紹介や、緊急時の救急対応を円滑に行えるように作成しました。

また緊急かどうか判断に迷った時に、緊急度判定を支援するアプリの紹介や、患者等搬送事業認定事業者の一覧も掲載してありますので、ぜひご活用ください。

目 次

- 1 施設内での救急事故の予防と対策・・・・・・・・・・ 1～2**
- 2 119番通報にあたって・・・・・・・・・・ 3**
- 3 救急要請対応フロー・・・・・・・・・・ 4**
- 4 消防局からのお願い・・・・・・・・・・ 5～7**
- ※ 救急隊への情報提供表及び見本・・・・ 別添1、別添1－2**

<問い合わせ先>

名古屋市消防局 救急部救急課救急係 TEL：052-972-3563

1 施設内での救急事故の予防と対策

- ① 名古屋市消防局では、救急車の出動に関するデータ分析を中心とした研究（研究機関：東邦ガス株式会社）により明らかとなった、居室内における救急事故の予防策について、広く市民の皆様に啓発し救急予防を推進しています。その予防策の一例をご紹介します。（注 救急事故とは、急病やけがなど、消防による救急業務の対象となる事故をいいます。）

廊下・階段の事故

- ✚ 小さな段差につまずき転倒し負傷することが多数



- ✚ 居室と廊下の温度差にさらされることで、心臓に負担がかかり危険 ※ 廊下の急病事故は、心血管系疾患を発症しやすい「魔の時間帯」といわれる朝方5～9時頃と、夕方17、19時頃に重症化リスクが高くなっています。



転倒を防ぐ

- 手すりの設置と段差をなくす（敷物はしかない）
- 手すりがない場合は、壁伝いにゆっくりと移動
- 夜間は足元灯をつける

移動時の防寒

- 廊下や階段空間を暖める
- 服をもう一枚羽織ってから移動開始
- スリッパなどの履物を履く

血栓形成予防

- 居室から移動する前に水分を補給

浴室の事故

- ✚ 浴室事故は、居室を除いた住宅空間の中で最も死亡率が高い



- ✚ 11月～4月や、外気温が10℃を下回る日に重症化リスクが高まる



急激な血圧の変動を防ぐ

- 急激な温度変化を避けるために、
↳ 脱衣室や浴室内を暖める
・入湯は、かけ湯をしてからゆっくりと
- 半身浴を併用し、お湯の高さは心臓より下
- 体温 0.5℃上昇程度で湯から出る（目安は汗ばんだと感じたとき）

血栓形成予防

- 入浴前後に水分を補給（お酒はダメ）

トイレの事故

- ✚ トイレの急病事故は、居室を除いた住宅空間の中で最も頻度が多く、排便時のいきみに伴うダイナミックな血圧変動に注意



- ✚ 11月～4月にかけて、心血管系疾患を発症しやすい「魔の時間帯」といわれる、朝方6～7時頃に重症化リスクが高まる



排尿時の失神を防ぐ

- 座って排せつ（できれば男性も）
- 立ち上がる際の動作はゆっくりと

肌の露出部分を防寒

- トイレ空間を暖める（目安 22℃以上、最低でも 17℃確保）
- 便座暖房もしくは便座カバーを利用
- ひざ掛けで太ももなどの露出部を覆う

排便を穏やかに

- 普段から水分を多めに摂取
- 朝食を抜かない
- 便意を我慢しない

- ② 窒息事故は、餅、ご飯、パンなどで多く発生しています。特に高齢者は、咀嚼力や嚥下反射の低下により窒息を引き起こすリスクが高くなっています。利用者が食事をする際は、誰かがそばに付き添って、窒息事故の防止に努めてください。



- 食物を小さく切るなどして、食べやすい大きさにする
- 少量ずつ、ゆっくり食べる
- 食べている最中に、話しかけない
- 食事の際は、お茶や水などを飲んで、のどを湿らせる



2 119 番通報にあたって

心停止や窒息という生命の危機的状況に陥った傷病者や、これらが切迫している傷病者を救命し、社会復帰に導くためには、「**救命の連鎖**」が必要となります。



いざというときに慌てないために、**事前に対応マニュアルなどを作成**して備えておくことが望ましいと考えられます。特に利用者の方の心肺蘇生を望まない意思がある場合には、あらかじめ担当医師と協議して事前に対応について取り決めを行っていただくようお願いいたします。

救急隊は、救命を主眼とし、心肺停止に際しては救命救急センター等の医師の指示の下、胸骨圧迫やAEDを使用して一次救命処置のほか、器具による気道確保や末梢静脈路確保等の必要な処置を行いつつ、**当該救命救急センター等**に搬送します。緊急を要する場合には直ちに119番通報を行うとともに一次救命処置を開始してください。

① 緊急を要する症状の具体例

急に意識がなくなったり、状態が急に悪くなったときなど、右表に掲げる症状が該当します。

【緊急を要する症状の具体例】

➤意識がない（返事がない）とき
➤意識はあっても次の症状があるとき
・物を喉に詰まらせて呼吸が苦しい
・胸や背中突然の激痛
・息が切れ、呼吸困難
・突然の激しい頭痛
・大量の吐血・下血
➤急に次のような症状が出たとき
・顔半分が動きにくい
・笑うと口や顔の片方がゆがむ
・呂律が回らず話しにくい
・見える範囲が狭くなる
・片側の手足が動かない
・顔や手足のしびれ
➤高所からの転落や、大量の出血を伴うなどの大けが、広範囲のやけど

② 119 番通報時のお願い

119番通報時には、次のことに留意してください。

➤応急手当（心肺蘇生）の実施

意識が無く正常な呼吸をしていない場合は、すみやかに一次救命処置を実施してください。

心肺蘇生は、救急隊（消防隊）が到着し、交代するまで継続してください。

➤誘導（開錠）

特に夜間などは、玄関など入り口を開錠していただくとともに、救急隊（消防隊）が到着したら、患者の居場所まで誘導してください。

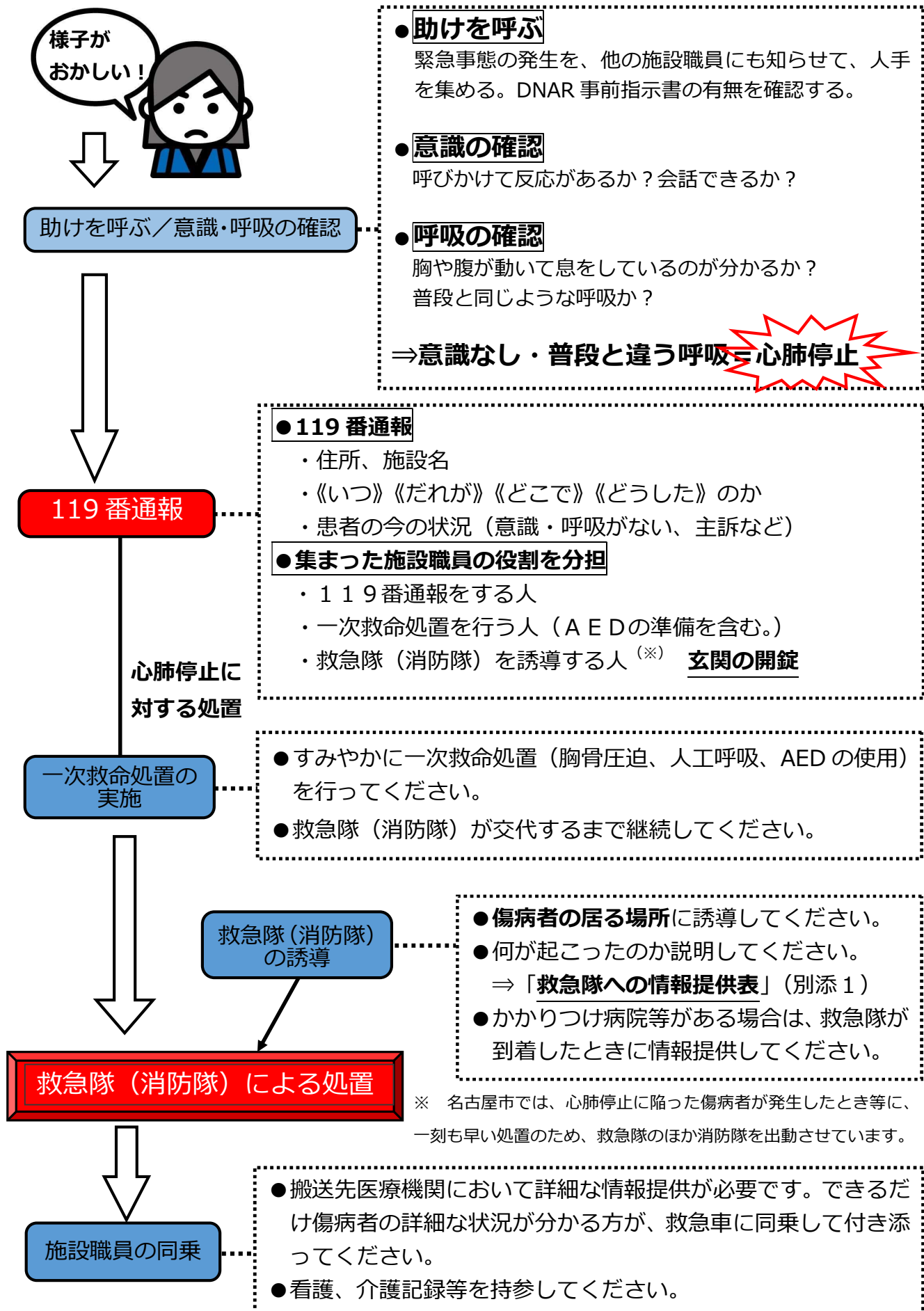
➤情報提供

別添「**救急隊への情報提供表**」を事前に作成しておいていただき、緊急事態発生の場合は、到着した救急隊（消防隊）へ渡してください。（施設における看護、介護記録等がご準備いただける場合にも、その記録を基に記入していただくようお願いします。）

➤その他

医療機関への搬送に際し、できるだけ詳しく状況がわかる方の**救急車への同乗**をお願いします。（万一その場で同乗できない場合でも、ご家族や他の職員に連絡をとっていただくなど、関係者が搬送先医療機関へ迅速に来院できるよう連絡をお願いします。）

3 救急要請対応フロー



4 消防局からのお願い

① 担当医師、施設協力医療機関との連絡体制の構築

施設利用者ごとの担当医師や施設協力医療機関との連絡を密にし、健康管理だけでなく、容態が変化したときに相談したり、受診したり、必要な指示を受けられる体制をとってください。利用者の体調の変化に注意を払い、症状が悪化する前に早めに対応することや、夜間・休日で職員の方が少なくなる前の対応が望ましいと考えられます。

② 緊急度判定ツールの活用

施設利用者の容態が変化した時には、上記①のとおり担当医師等との連絡を密にして対応していただくようお願いしておりますが、担当医師等に連絡が取れず、緊急かどうか判断に迷う場合は、傷病者の緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するためのアプリ「全国版救急受診アプリ（Q助《きゅーすけ》）」を総務省消防庁が提供しておりますので、ぜひ参考にしてください。

Q助（きゅーすけ）アプリのダウンロードおよび詳細は、総務省消防庁ホームページを参照してください。

Q 助



（検索エンジンで“Q 助”と検索）

救急車を呼ぶ前に考えよう



「Q 助」QR コード

③ 患者等搬送事業者等の利用の検討

度重なる救急出動によって、救急車の到着の遅れが懸念されています。もし施設内で医療機関の受診を要する方がおみえになり、緊急性が無く救急車以外で対応できる場合は、患者等搬送事業者の利用について積極的に検討していただくようお願いいたします。名古屋市では、一定要件を満たした民間会社を、患者等搬送事業者として認定しています。

名古屋市内の患者等搬送事業認定事業者は、名古屋市公式ウェブサイトから確認して下さい。

名古屋市 患者等搬送事業者



（検索エンジンで“名古屋市 患者等搬送事業者”と検索）



「名古屋市内患者等搬送事業者認定一覧」QR コード

④ 応急手当の習得と実施

施設利用者の方が生命の危険に陥っているときには、救急隊の到着を待たず、すみやかに救いの手を差し伸べなければなりません。一刻を争う事態に備えて、**応急手当**を多くの施設職員の方々が身に着けておくことが大変重要であると考えられます。

名古屋市では、応急手当に関する各種講習会を開催していますので、ぜひ一度ご検討ください。



応急手当の講習に関するお問い合わせ、お申し込みは名古屋市
応急手当研修センター（昭和消防署 4 階）又はお近くの消防署へ
ご連絡ください。（右記 QR コードからもアクセスできます。）

応急手当について

名古屋市応急手当研修センター TEL：052-853-0099

⑤ 救急隊への情報提供について

施設内で救急要請に至る状況が発生した場合には、前述のとおり「4 救急隊要請フロー」に沿って対応をお願いしているところですが、円滑な救急活動を行うためにも、「救急隊への情報提供表」（別添 1）の提供をお願いいたします。「救急隊への情報提供表」の**上半分は事前に記入**できますので、**あらかじめ利用者ごとに作成**をしておいてください。

救急通報と並行して、事前に記入された「救急隊への情報提供表」の**下半分の太枠内を記入**して、到着した救急隊に早急に手渡せるよう準備をお願いします。

到着した救急隊は「救急隊への情報提供表」を使用し、医療機関へ受入要請を行います。「救急隊への情報提供表」が救急隊の手元に渡るのが遅れると、受入要請を含む救急活動が滞り、時間経過とともに利用者の更なる状態悪化を招く危険性がありますので、施設内での周知徹底をお願いします。

⑥ 心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

救急隊が傷病者に接触した際、家族等から心肺蘇生を望んでいない意思表示（DNAR）が確認でき、下記の条件にすべて該当した場合は、救急隊による処置及び医療機関への搬送を行わず、かかりつけ医等に傷病者を引継ぎ、可能な限り本人の意思に沿った活動を行います。

条件

- 傷病者が心肺機能停止であること（人生の最終段階に至る原因となった病態による心肺機能停止であること）
- 老衰やがんなどにより、人生の最終段階にある傷病者であること
- 傷病者本人による「心肺蘇生を望まない意思表示」があること
- かかりつけ医、家族等と ACP※が行われていること

- 外因性（交通事故、窒息、自傷他害）による心肺機能停止ではないこと
- その場において救急隊が ACP※を取り扱った医療機関の医師に連絡がつくこと
- 同医師から心肺蘇生の中止の指示を受けること
- おおよそ 12 時間以内に医師が現場に到着できること

※ACP（アドバンスケアプランニング「人生会議」）：人生の最終段階における医療ケアについて、本人が家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合う取り組み

上記条件をすべて満たしていなければ、救命救急センター等の医師の指示の下、救命処置等の蘇生処置を行いながら、当該救命救急センター等に搬送することになります。

～今後も救急隊の活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。～

救急隊への情報提供表

【別添1】

【事前記載事項】：利用者ごとに事前に記載しておいてください。

フリガナ 氏 名			年齢	歳	性 別	男 ・ 女	
TEL			生年月日	M・T・S・H		年	月 日
住 所						□：施設に同じ	
病歴等	現在治療中の病気・ケガ			既往歴			
常用服用薬				アレルギー	有 ・ 無 ()		
日常生活	会話	可能・一部可能・不可		歩行	可能・一部可能・不可		
かかりつけ病院名 (診察券番号も分かれば記載)				担当医師名			
ACPを取り扱った医療機関 (診察券番号も分かれば記載)				担当医師名			
ACPを取り扱った医療機関の連絡先							
心肺停止時に心肺蘇生を望まない本人の意思がある		有 ・ 無					
緊急連絡先 (家族等)	氏名			TEL			
	住所					続 柄	

※ACP(アドバンスケアプランニング「人生会議」):人生の最終段階における医療ケアに 以上については、 年 月 日現在の情報です。
 ついて、本人が家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合う取り組み

【119番通報時の記載事項】：本日救急搬送を要請するに至った理由などを記載してください。

発症(受傷)を目撃しましたか？	はい(日 時 分頃) ・ いいえ
普段どおりの状態を最後に確認したのはいつですか？	日 時 分頃
発症または発見時の状況、主な訴えや症状など	
意識レベル：JCS	
呼吸 : 回	
脈拍 : 回	
血圧 : /	
SpO2 : %	
体温 : °C	
最後の食事： 時 分頃	

【お願い事項】

1. 呼吸が無い場合は、一次救命処置を行ってください。
2. すみやかな処置の実施のため、**玄関の開錠**・患者の居場所への**誘導**をお願いします。
3. 救急搬送の際の**付き添い**(事情がよく分かる方)をお願いします。

記載していただいた事項は、救急業務以外には使用いたしません。

名古屋市消防局

記入例

救急隊への情報提供表

【別添1-2】

【事前記載事項】：利用者ごとに事前に記載しておいてください。

フリガナ 氏 名	なごや たろう 名古屋 太郎		年 齢	〇〇歳	性 別	☒ 男 ・ 女
Tel	施設に同じ		生年月日	M・T・ ☒ S・H	〇年 〇月 〇	
住 所			☒ 施設に同じ			
病歴等	現在治療中の病気・ケガ 慢性心不全、高血圧、糖尿病		既往歴 肺炎、脳梗塞			
常用服用薬	ダイアード、アムロジンOD、 グルコバイOD		アレルギー	☒ 有 ・ 無		
日常生活	会話	可能・一部可能 ☒ 不可	歩行	可能・一部可能 ☒ 不可		
かかりつけ病院名 (診察券番号も分かれば記載)	〇〇病院 000-000		担当医師名	〇〇医師		
ACPを取り扱った医療機関 (診察券番号も分かれば記載)	〇〇病院 000-000		担当医師名	〇〇医師		
ACPを取り扱った医療機関の連絡先	000-000-0000					
心肺停止時に心肺蘇生を望まない本人の意思がある	☒ 有 ・ 無					
緊急連絡先 (家族等)	氏名	名古屋 花子		Tel	000-000-0000	
	住所	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇		続 柄	娘	

以上については、 年 月 日現在の情報です。

※ACP(アドバンスケアプランニング「人生会議」): 人生の最終段階における医療
ケアについて、本人が家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合う取り組み

青色枠内は事前に記載
をお願いします。
利用者ごとに記入して
おいて下さい。

たくさんの既往歴
や服用薬があり
記入が全てでできな
い場合は、全てを
記入できなくても
構いません。

赤枠内は119番通報
時に記載をお願いし
ます。
救急要請後、早期に
記入して下さい。応
急処置等が必要とさ
れる場合は手分けし
て記入していただ
くようお願いします。

【119番通報時の記載事項】：本日救急搬送を要請するに至った理由などを記載してください。

発症(受傷)を目撃しましたか?	はい(日 時 分頃) ・ ☒ いいえ
普段どおりの状態を最後に確認したのはいつですか?	☒ 日 ☒ 時 ☒ 分頃
発症または発見時の状況、主な訴えや症状など	
意識レベル: JCS I-3	
巡回時に息苦しさを訴えたため119番通報をし ました。	呼吸 : 20 回
	脈拍 : 100 回
	血圧 : 120/90
	SpO2 : 90%
最後の食事: 12時00分頃	体温 : 36.7℃

救命処置が必要
な場合には、黄色
の網掛け部分の
情報が重要とな
りますので、記入を
お願いします。

【お願い事項】

1. 呼吸が無い場合は、一次救命処置を行ってください。
2. すみやかな処置の実施のため、**玄関の開錠**・患者の居場所への**誘導**をお願いします。
3. 救急搬送の際の**付き添い**(事情がよく分かる方)をお願いします。

記載していただいた事項は、救急業務以外には使用いたしません。

名古屋市消防局



「救急隊への情報提供表」は名古屋市公式ウェブサイトにあります。

名古屋 救急隊への情報提供表

